山形県感染症発生動向調査 週報

2025年 第18週

(2025年4月28日~2025年5月4日)

2025年5月8日 発行

<定点把握感染症>

	こ、、、、」し)注心不進/								1						0	:警報レ/	ベル	0	:注意報	レベ	ル
定点種	感 染 症	全国	Д	形県			市保健所			山保健所			上保健所		置則	易保健所		,	内保健所		累積 (県)
別		第17週	第17週	第18週	増減	第17週		増減	第17週		増減	第17週	第18週	増減	第17週	第18週	増減	第17週		増減	第1~18週
感急	内科·小児科(定点医療機関数)			(37)	_		(7)			(10)	ı		(2)			(6)	1		(12)		
染性	インフルエンザ	4209	28	19	∇	7	6	∇	10	3	∇	7	4	Δ		5	Δ	4	1	▼	6351
症呼定吸		1.09	0.72	0.51		1.00			1.00	0.30		1.75				0.83		0.33	0.08		
点器	新型コロナウイルス	5360	100	60	▼	15	7	∇	33	25	▼	12	4	∇	31	14	▼	9	10	Δ	2844
	感染症(COVID-19)	1.39	2.56	1.62		2.14			3.30	2.50		3.00			5.17	2.33		0.75	0.83		
	(定点医療機関数)			(24)	ı		(6)			(7)	ı	_	(1)		_	(3)			(7)		
	RSウイルス感染症	1686	31	24	∇	3	3		11	6	∇	1	4	Δ	5	3	▼	11	8	∇	343
		0.72	1.19	1.00		0.50	0.50		1.57	0.86		0.33	4.00		1.67	1.00		1.57	1.14		
	咽頭結膜熱	923	12	9	∇	0.15	4	\blacktriangle	6	2	∇	2	1 00	•	0.22	2	Δ	2		∇	184
	4 T345	0.39	0.46	0.38		0.17			0.86	0.29		0.67	1.00		0.33	0.67		0.29	_		
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	6672	74	51	∇	23	12	∇	16	8	∇				30	26	▼	5	5		1239
	レングが困咽頭火	2.83 19774	2.85	2.13		3.83			2.29	1.14		21	0			©8.67		0.71	0.71		
	感染性胃腸炎		265	151	∇	76	32	\blacksquare	115 16.43	66	∇	21	8	•	26	14	∇	27	31	•	2620
小		8.39		6.29		12.67	5.33			9.43		7.00	8.00		8.67	4.67		3.86	4.43		
児科定点	水痘	1138	23	14	∇	11	4	∇	5	8	▲	3		∇	4		∇		2	Δ	178
定		0.48	0.88	0.58		01.83	0.67		0.71	01.14		01.00			01.33				0.29		
点	手足口病	247	2	2		0.15	0.15			1	Δ			-	0.22		∇			-	174
		0.10	-	0.08		0.17	0.17		- F	0.14		1			0.33	_			1.0		
	伝染性紅斑	3073	92 ©3.54	89	•	12	17 ©2.83	Δ	57	49	∇	0.22		▼	16	7	∇	6	16 ⊚2.29	•	723
		1.30 850	13	©3.71		©2.00	©2.83		⊚8.14	<u>⊚7.00</u>		0.33			⊕5.33	©2.33		0.86	<u>©2.29</u>		
	突発性発しん	-		4	∇	4		∇	0.14	2	Δ	0.22		▼	1.00	0.22	∇	4	1 0 1 4	∇	129
		0.36	0.50	0.17		0.67			0.14	0.29		0.33			1.00	0.33		0.57	0.14		
	ヘルパンギーナ	67	2 0.00	0.04	∇				0.14	0.14				-	0.22		∇			-	9
		0.03	0.08	0.04			2		0.14	0.14					0.33			2			
	流行性耳下腺炎	0.09	0.15	0.08	∇		0.33	Δ	0.14		∇							0.43		∇	21
	(定点医療機関数)	0.09	0.15	(7)			(1)		0.14	(2)			(1)			(1)		0.43	(2)		
眼	(25		(7)	Π		(1)			(2)	l		(1)			(1)			(2)		
科	急性出血性結膜炎	0.04																			0
定		630	1	2								1	1			1					
点	流行性角結膜炎	0.91	0.13	0.29	Δ						1	1.00	1.00	-		1.00	Δ			-	100
	(定点医療機関数)	0.51	0.13	(10)			(2)			(2)		1.00	(1)			(2)			(3)		
	感染性胃腸炎	84	1	3		1	3			(2)			(1)			(2)			(3)		
	(ロタウイルス)	0.18	0.10	_	Δ	0.50	1.50	Δ						-						-	22
		2	0.10	0.50		0.50	1.50														
基	クラミジア肺炎	0.00									1			1						1	0
基幹定·		133	3	5		2				1			3					1	1		
定点	マイコプラズマ肺炎	0.28	0.30	0.50	Δ	1.00		\triangle		0.50	Δ		3.00	Δ				0.33	0.33	1	99
黑		6	0.50	0.50		1.00				0.50			3.00					0.55	0.55		
	細菌性髄膜炎	0.01			1						1			1						1	2
		17		1												1					
	無菌性髄膜炎	0.04		0.10	Δ						1			1		0.50	Δ			1	1
		0.04		0.10												0.50					

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所) TEL.023-627-1109

<通信欄>

〇トピックスでは、「百日咳」について掲載しています。

○インフルエンザ情報

第18週における県内のインフルエンザに関する情報は以下のとおりです。

・迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数

A型:12件、B型:7件 (定点医療機関からの報告)

・インフルエンザウイルス検出状況(衛生研究所 2024.9.2~2025.4.22) 今シーズン(2024年36週~)の患者から、

AH1pdm09が208件、AH3が10件、B型(ビクトリア系統)が 11件検出されています。

警報・注意報の基準(参考値)

武 沙 广	警報し	ノベル	注意報
感 染 症 	開始	終息	レベル
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

令和7年第15週から、国の新しい基準が発出されるまでの間、 警報・注意報の基準については参考値として取り扱います。

- ・定点把握感染症の定点当たり報告数グラフ・全数把握感染症の 年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
- ・ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。
- ・感染症のCSVデータは、衛生研究所HPからダウンロードできます。

<定点把握感染症 年齢別報告数>

種定別点	感 染 症																
4	内科·小児科	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	合計	
急性						1		1	1				6	1			
呼吸	インフルエンザ	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳~									19	
器感		3		1	1		4										
感热		~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳		
染症定	新型コロナウイルス感染症	1		1		2	1		1	1	1	2	12	2	1		
定点	(COVID-19)	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳~									60	
7111		2	4	10	6	10	3										
		~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳~		
	RSウイルス感染症	4	10	6	2	1	1									24	
	咽頭結膜熱		2	7												9	
小	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1		4	5	6	3	3	5	5	7	11	1		51	
	感染性胃腸炎		12	37	24	17	15	6	9	6	3	6	11	1	4	151	
児科定点	水痘				1	1		1	2	3	1	2	3			14	
走点	手足口病		1	1												2	
	伝染性紅斑		1	5	7	15	11	11	10	11	7	5	5		1	89	
	突発性発しん		1	3												4	
	ヘルパンギーナ					1										1	
	流行性耳下腺炎			1				1								2	

<全数把握感染症>

感 染 症			報告数			備 考
芯 未 征	山形市	村山	©* ⊞V			
結核	1			1		
腸管出血性大腸菌感染症		1				第17週追加報告(1) 型別:O166 VT2
梅毒					1	第17週追加報告(1)
百日咳	10	7		7	2	追加報告:第17週(8) ワクチン接種歴:4回(14)、3回(3)、無し(1)、不明(8)

<トピックス>

百日咳が増加しています

山形県における第18週の百日咳報告数は18人でした。今年最多の報告数となった第16週の36人から2週連続で報告数は減少していますが、昨年同時期と比べると報告数が多い状況が続いています。全国的にも多い状況が続いていますので引き続き注意しましょう。

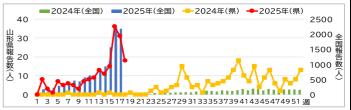


図1 百日咳週別報告数推移 (第18週現在)



図2 百日咳保健所別報告数 (第18週現在)

百日咳について

特有のけいれん性の発作(極咳発作)を特徴とする急性気道感染症です。 百日咳ワクチンを含む5種混合ワクチンが定期接種で行われていますが、 ワクチン未接種者や接種後年数が経過し免疫が減衰した人での発病が みられています。

〈感染経路と初期症状〉

感染経路は飛沫感染及び接触感染です。通常5~10日間 (最大3週間程度)の潜伏期を経てかぜ症状にはじまり、 次第に咳の回数が増えて程度も激しくなります。

〈治療と予防〉

通常、患者からの菌排出は咳の開始から 約3週間持続しますが、早期に適切な治療 を開始することで服用開始5日後には菌は ほぼ陰性になります。普段から「手指衛生」 「咳エチケット」「換気」等の基本的な感染 対策に努めましょう。



〈詳しくはこちらへ〉 国立健康危機管理研究機構HP



【急性呼吸器感染症サーベイランス(症候群サーベイランス)】

<定点把握感染症>

		感染症		感染症		全国	Щ	形県		山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積 (県)
				第17週	第17週	第18週	増減	第17週	第18週	増減	第17週	第18週	増減	第17週	第18週	増減	第17週	第18週	増減	第17週	第18週	増減	第15~18週		
É	急性	呼吸器感染症定点																							
		内科·小児科	(定点医療機関数)			(36)			(7)			(10)			(2)			(5)			(12)				
		多州瓜瓜卯 武	zh.v=	237731	3309	2624		714	589	1	613	488	∇	550	288		647	531	1	785	728	1	11771		
		急性呼吸器感染症	花 扯	62.18	87.08	72.89	1 🗸	102.00	84.14	· ·	61.30	48.80	٧	137.50	144.00	•	129.40	106.20	V	65.42	60.67		11771		

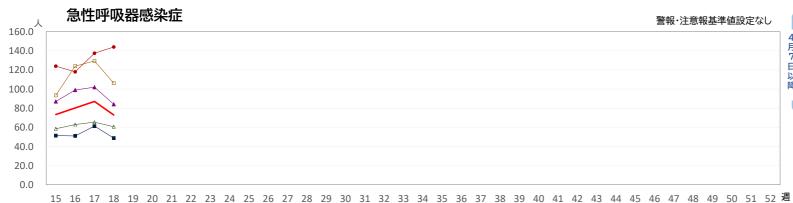
- ・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
- ・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

<定点把握感染症 年齢別報告数>

	感染症	山形県															
			第18週														
急	性呼吸器感染症定点 内科·小児科	0歳	1~ 4歳	5~ 9歳	10~ 14歳	15~ 19歳	20~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70~ 79歳	80歳~	合計			
	急性呼吸器感染症	228	1090	582	245	65	49	72	61	48	57	74	53	2624			

<定点当たり報告数グラフ>

★山形市保健所 ●村山保健所 ●最上保健所 ●置賜保健所 ←庄内保健所 ー山形県



急性呼吸器感染症(ARI) サーベイランスについて

平時より、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、国民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が4月7日から五類感染症に位置づけられ、サーベイランスが始まりました。

ARIサーベイランスは、症例定義**に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

※咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

ARIサーベイランスにおける対象感染症は、インフルエンザ、COVID-19、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に加え、新たに五類感染症に位置づけられた「(診断名のつかない)急性呼吸器感染症」となります。





詳しくは 厚生労働省HPへ ▶▶▶

